

富士市・複合型子育て拠点「みらいてらす」子連れコワーキングモデル推進事業

背景

人口減少・少子化の進行に歯止めがかからず、出生数が低下している

出生数の推移 2018年 1,746人 ➡ 2023年 1,407人

5年で
339人減少

現状の課題

- 少子化対策として「子育てしながら希望通りに就労できるよう多様な働き方を推進すること」が求められている。（市民アンケート結果）
- その一方、本市における25歳～39歳の有配偶女性の就業率が低い傾向にある。

➡ **子育てと仕事の両立がしやすい環境の整備が必要**

事業の目的

子どもを連れてコワーキングスペース等で、安心して仕事ができる複合型子育て拠点「みらいてらす」の活用を通して、多様な働き方の選択肢の普及促進を図ることにより、子育てしながら希望通りに就労できる環境づくりを推進する。

これまでの取組

- 令和3年12月に複合型子育て拠点「みらいてらす」を開所
- みらいてらす内の子連れコワーキングスペースの活用促進
- 子育て世代の仕事時間確保に向けた見守り託児DAYの実施



富士市・複合型子育て拠点「みらいてらす」子連れコワーキングモデル推進事業

事業 内容

- 子連れコワーキングスペースの運営管理
- 施設を拠点とした子連れコワークの推進
 - ・ 見守り託児DAYの実施
 - ・ 多様な働き方普及に向けた講座の開催
- 利用促進、賑わい創出
 - ・ 親子向けイベントの開催
 - ・ 大規模イベント「マルシェ」の開催
 - ・ SNSを活用した情報発信



コワーキングスペースの様子（子どもは施設スタッフが託児）



講座の様子（多様な働き方の実践ノウハウやスキルが学べる）

得られる 成果等

成果・目標

- 多様な働き方と女性活躍の推進
 - 本市の子育て環境イメージ向上
 - 子育て施策、移住定住施策等の連携による相乗効果発揮
- ➡ 出生数向上、少子化対策に貢献

企業に求めるもの

- 企業版ふるさと納税による支援
- 子育てと仕事の両立がしやすい環境整備

企業のメリット

- 子育て世代の支援に寄与し、市ホームページ等での企業名の公表や報道提供による**企業のイメージのアップ**につながる。